

【4】さらに勧めたNY校

→ 生徒の家族も先生の家族も

なかなかアルバム整理が難しいという経験は、誰もが持っていた。それだけに、ベタベタ・アルバムの効能は、実物を見ることで一目瞭然、理解をはやめ、実行に移した賛同者がふえていった。同僚の家庭では、旅行するたびに、アルバム編集長がきまり、子供たちも競って楽しいアルバム作りに参加した。写真の貼り方も、ただ単に貼っていた私のアルバムに比べ、四角、楕円形、ハート型などの様々な切り方を工夫するようになった。数家族が集まるときは、このアルバムを持ち寄るようになった。具体的なコメントや、背景のエピソード、こどもの俳句などで話題が、今までより広がり、更に楽しいひと時を持てるようになったと述懐している。

私のニューヨーク時代に作ったアルバムの、コメントは省略するが、写真に寄せた俳句をいくつか紹介します。

- ① 入学を祝い木蓮新世界・・・4.10 入学式。大きな木蓮の白い花が咲いている。ここはアメリカ。日本人学校での入学式。子どもたちにとって、新しい大陸での新しい生活が始まる。
- ② カメラマンの囲みし JAPAN 席にありて臆せずスピーチする子よ頼もし・・・国連会議場で「世界子どもの日」、各国の未来の代表が参加。安田君の堂々の演説。
- ③ 遠足の子らに歩を停む騎馬警官・・・全校遠足。日本から全米から世界から集まってきた子どもたち。その列をアメリカの騎馬警官が優しく見守ってくれている。
- ④ 異国（とつくに）に同胞（はらから）眠る奥津城（おくつき）に平成の子らと花を捧げり・・・5.29 Memorial Day この日、日系人会、総領事館、寺院、教会関係者による日系人会墓参会に参加して。
- ⑤ 還暦を間近の我と妻なれどアメリカなれば運転習いぬ・・・この歳で、二人で車の運転免許をとった。
- ⑥ 一瞬の隙を突きくる剣のごと我の車は妻を倒しぬ・・・車庫入れを誘導していた妻を、壁と車の間に挟んでしまった。入院1週間。自宅で寝たきり1ヶ月。通院3ヶ月。治療代約200万円。（すべて保険で支払い）
- ⑦ 紅葉のはや色づきぬキャッツキル・・・9月6～8日。キャッツキル山のふもとで6年生の修学旅行
- ⑧ 冬紅葉異国の友に茶をたつる・・・11.5 学校、PTAの共催で日米文化交流会。約1000名のアメリカ人客。
- ⑨ タクト振る蝶ネクタイに冬日さす・・・1.10 予餞会。すべてが生徒の手で。芸術性の高い演し物に驚嘆。
- ⑩ 平成に馴れ初めし子等翔び立ちぬ・・・1.16 文字通り、受験のために日本に旅立っていく。



張江 幸男（はりえ ゆきお）

海外・帰国子女教育専門機関 JOBA 顧問

前全日本空輸（株）海外子女教育相談室長、元三菱商事（株）相談室長、元ニューヨーク日本人学校校長、元台北日本人学校教頭

【5】出張でつくるアルバム

→ あとで仕事の最高の資料

学校を退職してから、三菱商事に7年、全日空に7年海外子女教育相談室長として勤務した。仕事柄、毎年、海外に出張したが、そのたびに一冊のベタベタ・アルバムができた。単なる記念や、記録にとどまっていなかった。報告書には書いていない多様な記憶が蘇ってくる。次のような都市に出張した。

- ①シンガポール ②ジャカルタ ③バンコク ④北京
- ⑤上海⑥広州 ⑦香港 ⑧瀋陽 ⑨青島 ⑩台北
- ⑪台中 ⑫高雄 ⑬ニューヨーク ⑭ワシントン
- ⑮ロスアンゼルス ⑯サンフランシスコ
- ⑰ペーカーズフィールド ⑱ブリュッセル ⑲ロンドン
- ⑳パリ ㉑、ジュッセルドルフ ㉒、アテネ

行先は会社の支店・日本人学校・補習授業校・日系の私立学校・現地校〔小中高〕・国際学校・博物館・美術館・社員宅。その校舎・施設・先生・児童生徒、それぞれそのときの印象やエピソードが書き込まれている。

ジュッセルドルフに出張したとき、日程に余裕が出来て、ケルンの大聖堂に案内してもらった。広ーい教会の中にいろいろな団体が来ていた。泣きながら歌っているグループが写っている。この人たちはソ連人で隠れて信仰を続けていた。生涯で一度でいいからケルン大聖堂へお参りしたいと念じていた。いまロシアとなり、自由にここにこられたことに感謝して聖歌を歌っているのです、と語ってくれた。

かわいい11年生のお嬢さんが写っている。この横に、授業の時間割が書いてある。特、英語（6:46）1、アメリカ史（7:42）2、代数（8:46）3、化学（9:52）4、保健体育（10:55）5、昼食（11:52）6、英語（12:36）7、フランス語（1:39）特、政治経済（18:43）。このお嬢さんは、3年間で高校を終える予定だったが、お父さんが病気で帰国したため、2年間で高校の全課程を修了し、上智大学に入学された。このメモを見るたびに理知的なお嬢さんのその後の幸せを祈らずにはいられない。

海外・帰国子女教育専門機関 JOBA

〒145-0064 東京都大田区上池台3-39-9

Tel:03-5754-2240 Fax:03-5754-2241

<http://www.jolnet.com/>



「ベタベタ・アルバム」張江先生の命名ですが、その内容も「必要は発明の母」のモデル・ケースです。

ご自分の記録だけのためだけでなく、海外の子ども達や家族を幅広く巻き込んで、日本語学習や総合的学習の教材・指導法にまで進化させたのは、先生の工夫と熟意です。それをさらに、仕事の道具としてフルに使われているのには、頭が下がります。

教科書を使っただけの勉強だけではなく、日常のちょっとした工夫が日本語・国語の習得に役立つ、というこの実践例は海外の子どもにとって貴重です。

皆さんも、お子さんと一緒に、とりあえず先生のやり方をまねてみませんか。そして、ご自分達で工夫して、新しい発明を生んでみませんか？